

# 【会議録】

会 議 名	第3回港区たまち保育室運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年11月13日（月）午後5時00分から午後6時45分まで
開 催 場 所	芝浦港南地区総合支所103会議室
委 員	（出席者）5名 安梅委員長、岡田委員、田中委員、上村副委員長、桑原委員 （欠席者）なし
事 務 局	芝浦港南地区総合支所管理課長 金田
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査 （1）事業者A（プレゼンテーション10分間、質疑応答20分間） （2）事業者B（プレゼンテーション10分間、質疑応答20分間） 3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 4 その他 5 閉会
配 付 資 料	【配付資料】 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表 資料3 第2回選考委員会議事録概要 参考資料 第一次審査集計結果

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	<p>1 開会</p> <p>2 第二次審査 (1) 事業者A (プレゼンテーション 10 分間、質疑応答 20 分間)</p>
委員長 A委員	<p>質問をお願いします。</p> <p>プレゼンテーションの中で質の良い保育とおっしゃっていましたが、質の良い保育とはどのようなものだとお考えでしょうか。これまでの経験も踏まえて教えてください。</p>
事業者A	<p>子ども達が楽しいと感じる保育である必要があります。また、子ども達が自分の力でできることややりたいことをサポートすることが保育と考えています。</p>
A委員	<p>安全や危機管理体制など重要な項目も含め様々な提案がありますが、事業者としてどの提案を一番の特徴として前面に出していますか。</p>
事業者A	<p>コミュニケーション力を育てていきたいと考えています。用意している学習項目に、子ども達のコミュニケーション力を育てていくための「コミュニケーションあそび」という取組があります。その取組を通じて子どもの成長を応援したいと考えています。</p>
A委員	<p>その取組については理解しました。その他として、例えばカリキュラムや地域交流など特徴的な考えはありますか。もっとも力を入れている提案です。</p>
事業者A	<p>社会の中で子は育つと考えています。そのため、保育園内だけではなく、地域との交流や連携を重視し、地域ぐるみでの子育てを目標としています。具体的には、ハロウィンや勤労感謝の日といった各種イベントを通じて、地域の小学校や地域の方々と積極的に連携を行うことで、たまち保育室にこのような子ども達が通っているということを知ってもらえるような取組を行っています。</p>
B委員	<p>事故防止の提案の中でヒヤリハットマップを活用するとありますが、日頃どのように活用していますか。また、どのように法人で扱っているものですか。他の保育園と共有し、全体として危機管理能力を高める取組などはありますか。</p>
事業者A	<p>幼児クラスでは保育士が子どもに「どこが危ないかな」と質問を投げかけ、子ども達と一緒に危険箇所を考えて作成しています。法人事務局が施設訪問する際に、一項目ずつ漏れがないか内容を確認しています。</p>
事業者A	<p>法人では6月を安全月間と位置づけ、法人職員がグループの全施設に出向いて、安全点検を実施し、マップを確認しています。各項目の確認のほか、グループ内の園長会等で各施設のポイントとなる視点や好事例を共有し、安全管理に取り組んでいます。</p>
B委員	<p>主任候補者の方に質問です。保育運営にあたっては、園長と主任との関り、主任と他の職員との関りが重要となります。主任としてどのような形で仕事を進めていくのか、考えを聞かせてください。</p>
事業者A	<p>まず、園一体となって運営していくために、園長の方針を理解する必要があると考えます。それに向けて一緒に取り組んでいくことを第一に考えています。また、主</p>

D委員	<p>任という立場であることから、職員とのコミュニケーションも重要だと認識しています。保育現場ではもちろんのこと、それ以外でも話しやすい雰囲気を作り出せるよう努めています。また、手を止めて目を見て話すことも心がけています。</p> <p>提案内容を見て、研修が充実しているという印象を受けました。4年目以降の「エキスパート研修」とはどのようなものでしょうか。メニューや特色などを聞かせてください。</p>
事業者A	<p>職員の得意を活かすということを法人として重視しています。「エキスパート研修」は一年に一度、2時間程度のオンラインで実施している研修です。職員の得意分野をさらに成長させ活かしていけるようなプログラムを組んでいます。園長と相談し研修種別や項目を決めたり、園長から推薦されたりという形で始まります。今後、同研修で講師として活動していくことを見据えたものです。内容としてはコミュニケーションあそび、英語あそび、本の読み聞かせあそび、リズムあそび等様々なメニューがあります。</p>
D委員	<p>提案内容からコミュニケーションを重視していることが読み取れます。食育の場面においてもあたたかなコミュニケーション力を養う取組を実施するとありますが、具体的にはどのような過程で実施することを想定していますか。</p>
事業者A	<p>食は子どもの成長においてとても大切なものであると認識しています。実際、子ども達は給食がどのようなメニューか毎日楽しみにしています。実際に提供する給食を見本として展示スペースに設置しますが、その近くに季節を感じられるような、どんぐり、コスモスや紅葉などの折り紙作品を添えています。これは決まりではなく、栄養士さんたちが自身の発案で始めたものになります。この作品を話題として、子と親の季節に関するコミュニケーションにつながっている場面が多く見られます。また、温かい給食を提供することにも力を入れており、そこから温かな気持ちが生まれてくることを期待しています。</p>
E委員	<p>これまでの長い園長経験においては様々な事件事故、トラブル等があったと思います。これまで経験した大きな困難事例はありますか。また、どのようにそれを解決したか教えてください。</p>
事業者A	<p>職員の保育への姿勢をサポートしきれない、指導しきれなかったという事例がありました。子どもが落ち着きのない行動に出してしまった際は、子どもの安全のために、必要に応じて抱きしめて止め安心させてあげる必要があるのですが、一人の保育士が対処に迷い、体の一部のみには負荷をかけてしまったという事例がありました。躊躇せずに抱きかかえるなど、突発的な事態が生じたときの対処方法について、あらかじめ保育士に指導しておくべきでした。子どもの保護者に経緯を伝えるとともに、保護者と話し合いを重ねることでご理解いただき、安心していただける保育を提供できるよう取り組みました。</p>
E委員	<p>保育園で感染症が広がる等、保育士の人員体制が不安定になった際はどのように対応しますか。</p>
事業者A	<p>当法人はグループ内に40以上の園を有しているため、他園からの応援体制が取りやすいです。また、保育事業としてベビーシッターサービス事業も展開しているため、その事業から保育資格を有する職員を用意することができますので、欠員の無い安心できる体制を整えることができます。</p>
E委員	<p>個人情報保護関連の取得資格について聞かせてください。</p>
事業者A	<p>現在は取得していませんが、自治体で保育事業を展開する上では重要と認識して</p>

E委員 事業者A	<p>いますので、今後の取得を検討しています。</p> <p>具体的にいつ頃取得の予定でしょうか。</p> <p>現段階で時期については明言することはできませんが、法人内でイーラーニングを実施するなど、取得に向けた準備は進んでいると認識しています。</p>
C委員 事業者A	<p>施設長候補者の説明は抑揚があり、読み聞かせがとても上手だろうなという感想を持ちました。日頃素晴らしい保育をしていると想像できます。質問として、現在施設長をしている園ではどのような課題があると認識していますか。</p> <p>個々の保育士の課題として、子どもと接する際に一人ひとりをよく観察して保育にあたるよう指導しています。園全体の課題としては、クラス単位にとらわれず、園として職員一人ひとりの得意を活かし、チーム力を強化していくということです。そのためには保育士同士の連携が必要だと考えています。</p>
C委員 事業者A	<p>チーム力強化とのことですが、具体的に課題を教えてください。</p> <p>例えば、保育帳票の記入について、保育士によって得意・不得意が分かれ個人差があります。しかし、日々の帳票の記録は重要なものですので、主任が中心となりマンツーマンで教えています。また、課題が生じた際、それが小さな事であってもチームとなって共有し、話し合い、解決することが重要だと考えています。そのため、迷ったら躊躇せず園長に連絡するように伝えています。徐々にその体制は整ってきている状況です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。時間になりましたので質疑を終了します。</p> <p>(2) 事業者B (プレゼンテーション 10 分間、質疑応答 20 分間)</p>
委員長 A委員	<p>質問をお願いします。</p> <p>施設長候補者はこれまで様々なことを経験していると思いますが、どのような点を活かしていきたいと考えているか、港区の特色とともに具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>港区の特色として、教育に関心が高い保護者の方が多いと認識しています。外国籍の方も多く、小学校では国際科の授業があるそうです。区が取組として、保育アドバイザーの派遣や巡回指導が行われており、園と行政が一体となって保育に取り組める体制が整っていると認識しています。そのようなサポートを活用してよりよい運営に取り組めます。</p>
A委員	<p>さきほどのプレゼンテーションを聞き、施設長候補者として風通しの良い職場を実現したいという思いを受け取りました。その先として、職員にどのようにかかわっていくのか伺いたいと思います。特に、個々の職員について実力に差がある中で、経験が浅い職員や今後成長が期待できる職員へどのように指導していくか、これまでの経験も踏まえて具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>職員の指導・育成は重要と考えていますので、コミュニケーションを通じて、職員一人ひとりの声を聞くということを大切にしています。職員の理解度を見極めたうえで、それぞれにあった研修のメニューや育成計画を考える必要があります。具体的には、それぞれの職員との目標管理ノートを活用し、日々の活動や悩みを一緒に振り返り、面談や研修等の助言で活用する等コミュニケーションツールとしての活用を重視しています。</p>
B委員	<p>基本理念に「丁寧で落ち着いた保育」とあります。理念ということで少々わかりに</p>

事業者B	<p>くいのですが、施設長候補者はどのようにとらえていますか。</p> <p>職員へ「丁寧な保育」について説明する際は、保育をする上で大事となる次の3つのことを伝えています。「子どもの思いを受け止める保育」「やらせるのではなく、子どものやりたいという気持ちを大切に作る保育」「子どもが主体的に動ける保育」という3点です。一人ひとりを大切にすること、それが丁寧な保育につながっていきます。</p>
B委員	<p>保育運営にICTを活用されているとのことですが、コドモンの具体的な効果を教えてください。</p>
事業者B	<p>コドモンは保護者との連絡手段として活用しています。効果として、登園や成長の記録、行事予定や献立の周知といった園の情報が保護者へ伝わりやすい、園も家庭での状況が把握しやすいということが挙げられます。また、帳票作成をコドモンで行うことで職員の業務効率化につながっています。コドモンを利用することで保育計画を立てる時間が短縮され、その時間を振り返りの時間にあてることで、事業の充実につながっています。</p>
D委員	<p>提案の中で、子どもが自分自身で解決する力を育てるとありますが、具体的にどのような考えか聞かせてください。</p>
事業者B	<p>保育を行う上で、それぞれの年齢に合った関わり方を大事にしています。例えば、幼児クラスでは子ども同士の信頼関係が構築されつつあるため、ものの取り合いが起こった際に、子ども達と一緒に、取った側・取られた側のお互いの感情を考えるようにしています。子ども自身の思いを先生や相手へ伝えることを大切にしています。</p>
D委員	<p>食育の推進において5つの目標を掲げていますが、子ども達に関心をもってもらうためにどのような工夫を行っているか、具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>栄養士が計画を考える際に、保育担任と連携することで、現在の子どもの状況や興味を反映させています。楽しいという気持ちが食べる意欲につながると考えています。実際に八百屋さんに行って野菜を見てみたい、自分で育ててみたいという気持ちにつながり、それを保育に反映させる取組も行っています。</p>
E委員	<p>これまでの長い園長経験においては様々な事件事故、トラブル等があったと思います。これまで経験した大きな困難事例はありますか。また、どのようにそれを解決したか教えてください。</p>
事業者B	<p>就任して間もない時期は職員や保護者との十分な信頼関係を構築している段階だったため、園での取組を変更する場面において相手への伝え方に苦労しましたが、記憶に残るような大きなトラブルはありませんでした。運営においては信頼関係を重視しています。</p>
E委員	<p>園での取組を変更したとのことですが、何をどのように変更したのか、具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>園行事についてです。開園して間もない保育園だったことから、保育参観を実施していませんでした。しかし、保護者と一緒に子どもの成長を見ていきたいという思いから、保護者会等で説明し参加の協力をお願いしました。結果として、参加して良かったとのご意見をいただきました。</p>
E委員	<p>保育園で感染症が広がる等、保育士の人員体制が不安定になった際はどのように対応しますか。本部の応援体制を踏まえて説明してください。</p>
事業者B	<p>産休など欠員をあらかじめ把握できているときは、系列園間での異動により体制</p>

C委員	<p>を整えます。そのような欠員に迅速に対応するために、法人本部として常に最新の情報を得られるような仕組みを用意しています。事前に把握できないような突発的な欠勤については、まずは園内のシフトで対応しています。同時に、リアルタイムで園の状況を把握できる仕組みを構築しているため、状況を把握し次第、区と対応について協議した上で系列園からヘルプを出し対応していきます。それに備え、常にヘルプ人員を送り出せる体制を整えています。</p>
事業者B	<p>施設長として、園の課題をどのように認識していますか。また、課題についてどのように取り組みますか。</p>
委員長	<p>施設長として、常に保育の質の向上を目指しています。保育士一人ひとりの能力が異なることから、園内での研修に力を入れて取り組んでいます。例えば、保育状況を録画したビデオの閲覧や交換研修などを行いながら、客観的に保育を見つめるとともに、意見を言い合うようにしています。</p> <p>保育士として求められる部分も多くなってきていると感じています。丁寧な保育はもちろんですが、子どもの年齢や発達に沿った対応に力を入れていきたいと考えています。</p> <p>ありがとうございました。時間になりましたので質疑を終了します。</p>
委員長 事務局	<p>(採点)</p> <p>3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について</p> <p>事務局から集計結果について説明をお願いします。</p> <p>事業者A、第一次審査 693 点、第二次審査 380 点、合計 1,073 点、事業者B、第一次審査 669 点、第二次審査 372 点、合計 1,041 点です。</p>
委員長 A委員	<p>各委員から講評をお願いします。</p> <p>どちらの事業者も問題ないという認識です。先ほどの委員の話でもありましたが、事業者Aの施設長候補者については、読み聞かせ能力が高いと感じる一方で、具体性がないため説得力が欠けるとの印象を持ちました。具体的な説明をこちらが問いかけなくても、最初からの的確な説明が欲しいです。しかし、主任候補者の受けこたえがきちっとしており、園長とのタッグが期待できるとも感じました。2人のタッグにより、良い運営ができると考えます。事業者Bの施設長候補者は回答に具体性がありました。区の姿勢を理解した上でこれまでの経験を活かした説明となっていると感じましたし、風通しの良い職場への取組も納得できるものでした。また、事業者Aは事業実績が十分あることから実績や経験を活かした具体的な事業運営が期待できると感じました。</p>
B委員	<p>まず、これまで経験した選考の中でもっとも差をつけにくい2者だったという感想です。第二次審査表の項番1「事業運営に対する事例」、項番3「安全対策・危機管理」、項番4「提案書の実現性」については、どちらも安心して任せられるという認識です。項番5「総合評価」も同様に素晴らしいと考えています。事業者Aについては、保育理念が明確であるとともに、子ども視点での安全マップの作成など子どもベースの保育を実施しているという印象を持ちました。差がついたのは、項番2「施設長候補者の考え方や能力等」になります。事業者Aの施設長候補者については、自分の言葉でしっかりと話しているという印象を受けま</p>

D委員	<p>した。内容についても実体験に基づくものとなっており、いい保育をされているという感想を持ちました。事業者Bについては、プレゼン内容が残念に感じましたが、施設長候補者は受け答えから管理能力があるという印象を受けました。将来的に私立認可化が計画されているという展開を考えたときに、本格的な保育園となった際の職員の管理を適切かつ十分に行えるのではないかと考え、項番2については事業者Bを若干高く評価しました。</p> <p>両者とも問題なく、甲乙つけがたいという感想です。事業者Aは施設長候補者として丁寧な受け答えが印象的でした。充実した研修体制や保育士・栄養士が一体となった食育への取組、危機管理や欠員時の本社のヘルプ体制がしっかり整っていると感じました。事業者Bは港区の特色や施設運営における課題把握も含め、よく理解できていると感じました。</p>
E委員	<p>両者とも問題なく、差が開かない結果となりました。事業者Aの施設長候補者は雰囲気明朗かで、明るい園運営が期待できると考えました。また、困難事例やその解決などの経験についても話を聞くことができ、経験豊富な印象を受けました。事業者Bの施設長候補者は管理者としてきちっとしている印象を受けました。最終的には、欠員時の応援体制により判断しました。事業者Aはベビーシッター部門の活用が期待できるということで、事業者Bと差をつけました。</p>
C委員	<p>事業者Bは提案資料同様プレゼン資料の出来が不十分で残念に思いました。施設長候補者は両法人とも素晴らしいと思いました。施設長候補者としては課題を認識した上での論理的な回答ができる能力が必要であるため、その点は弱いと感じました。</p>
委員長	<p>各委員の講評を受けて、点数の修正や意見はありますか。 (委員一同、なし)</p>
委員長	<p>事業者Aを運営事業候補者として選定することとしますが、よろしいですか。 (委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>事業者Aを運営事業候補者として選定します。事務局から事業者名の発表をお願いします。</p>
事務局 委員長	<p>事業者Aは株式会社小学館アカデミーです。 それでは、委員の総意として、株式会社小学館アカデミーを運営事業候補者に選定します。</p>
	4 その他
	<p>5 閉会 (事務局より事務連絡) (委員長より閉会の挨拶)</p>